

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-1  
売れる農林水産品・加工品づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農地整備課 足立和彦

電話番号

0852-22-5149

事務事業の名称	用排水施設等整備事業	
目的	(1) 対象	用排水施設等の整備によりかんがい用水の安定供給と排水不良の解消が図られる農地。
	(2) 意図	水路やポンプ等の農業用排水施設について機能の維持増進を図ることで、かんがい用水の安定的供給と排水不良の解消による良好な営農条件を確保し、収益性の高い売れる農作物の栽培を可能とする。
事業概要	収益性の高い売れる農産物の栽培が可能となる農業生産基盤を確保するため、農業用排水施設を保全・整備し、農業用水の安定確保と排水不良を解消する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 農業用水の安定供給と湛水被害の解消が図られる受益面積（累計）	目標値		4,700.0	4,840.0	4,860.0	4,880.0	ha
	式・定義 事業完了により効果が発現する累計受益面積	取組目標値						
		実績値	4,550.0	4,680.0	4,800.0			
		達成率	-	99.6	99.2	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	774,230	1,206,997
うち一般財源 (千円)	299,633	380,226

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

対象28地区のうち平成29年度までに22地区が完成するなど、ほぼ計画に沿った進捗が図られている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成29年度完了地区へ予算の重点配分を行い、かんがい用水の安定供給と、排水不良解消の早期効果発現が図られた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- 施設の老朽化の進行に伴い、今後保全対策が必要な施設が増加する。
- 対象28地区のうち未完了6地区の完成や、今後増加が予想される農業水利施設の保全対策に必要な予算の確保が見通せない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 平成30年度の農業農村整備事業予算は、平成29年度を上回る状況であったが、農業水利施設の保全・整備に必要な予算は確保出来ていない。

### ③原因を解消するための「課題」

- 早期効果発現するため、必要予算の安定確保を要望。
- 建設コストの縮減を図ることによる効率的な執行。
- 事後保全対策から予防保全対策へシフトし、ライフサイクルコストの抑制。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 必要な予算確保を国に働きかけるとともに、目標達成に向け、建設コストの縮減に努める等、事業の計画的・効率的な執行を図る。
- 農業水利施設管理者等に対し、各種会議や説明会で予防保全対策の必要性を説明し、理解度を高めてもらう。